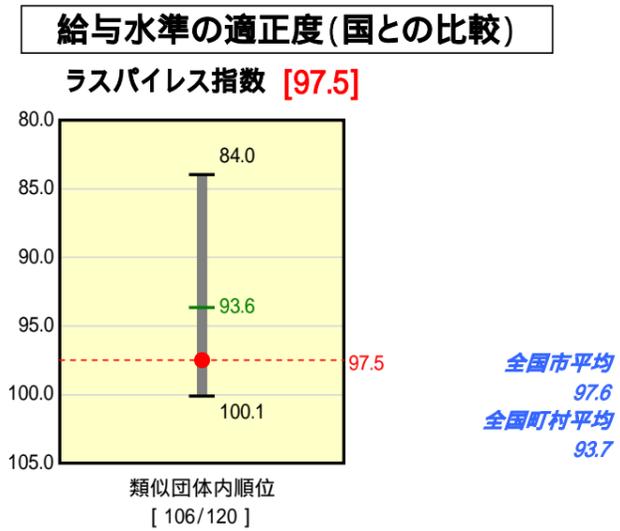
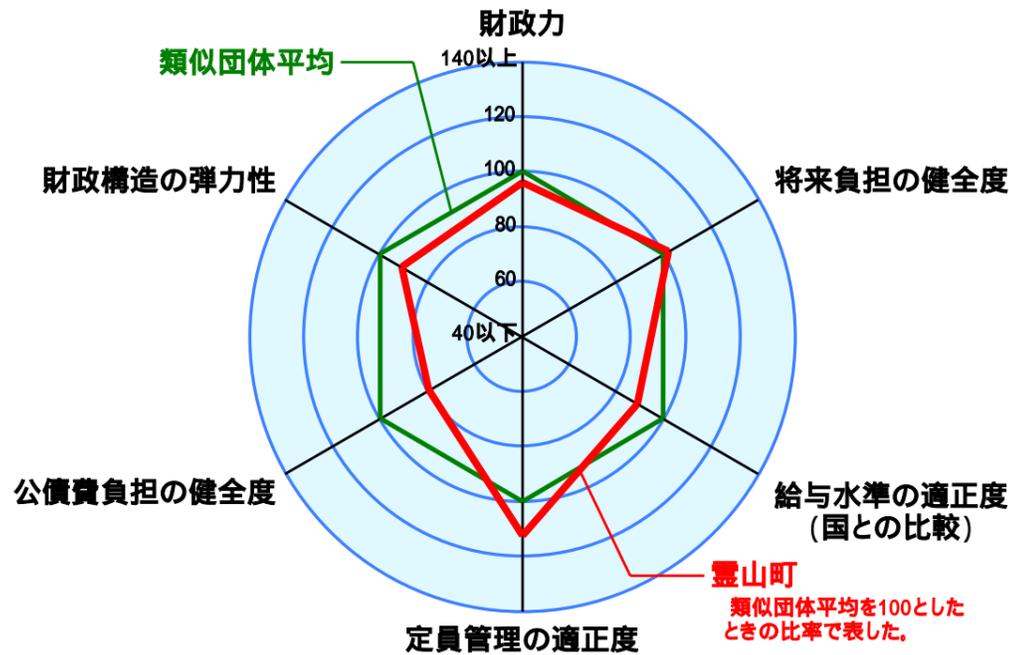
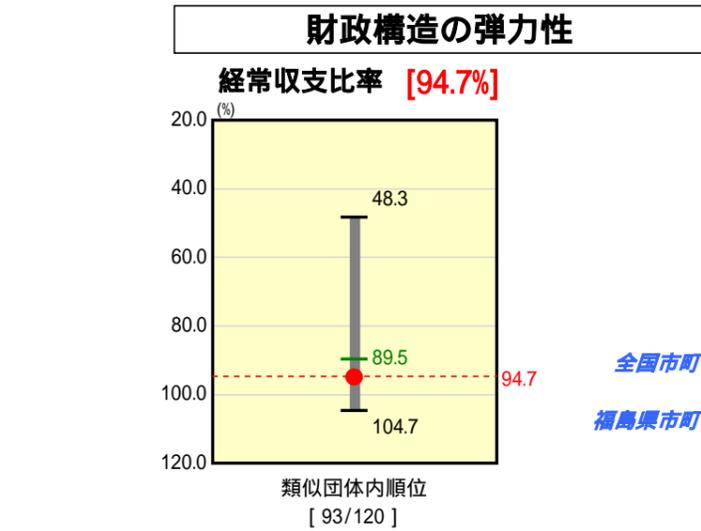
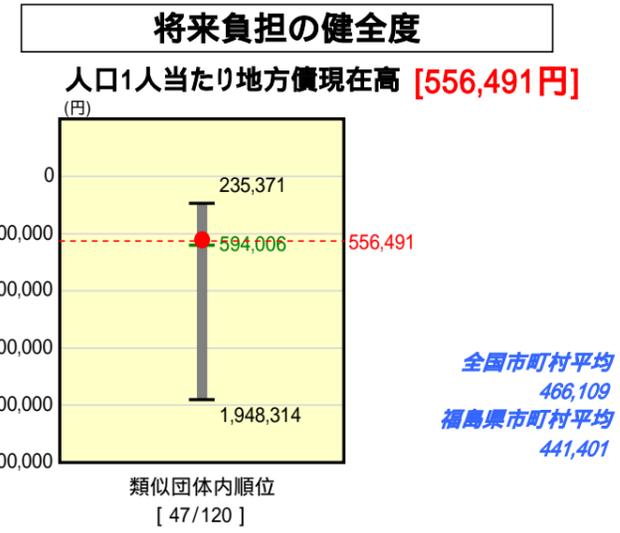
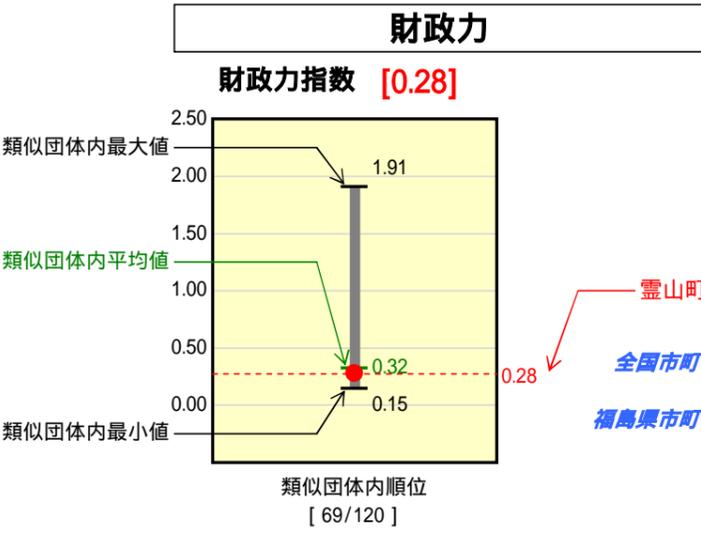


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 霊山町

人口	9,651人(H17.3.31現在)
面積	87.33 km ²
歳入総額	3,684,039千円
歳出総額	3,552,420千円
実質収支	131,619千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数:ここ3年間でわずかながらも連続した伸びを見せており、0.28(H14=0.26 H15=0.27 H16=0.28 H17=0.29)となっている。今後は、合併市(伊達市)において行政の効率化に努め、地方税滞納額の圧縮など、財政の健全化を図る。

経常収支比率:扶助費及び補助費、繰出金等の増加により94.7%と類似団体を上回っている。平成14年度から実施している特別職の給与カット(H14.10.1より町長30%、H16.4.1より助役30%)、平成15年4月1日より特別調整額支給率の50%カットによる人件費の削減を実施している。事務事業について計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減を図る。

起債制限比率:平成13、14年度の地域材利用学校関連施設整備事業(地域交流センター)等により類似団体平均を5.1ポイント上回っている。今後は、事業の重点選択を徹底し、起債に大きく頼ることのないよう財政運営に努める。

人口1人当たり地方債残高:近年、大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後も新規発行債の抑制を図り、財政の健全化に努める。

ラスパイレス指数:旧来からの給与体系によりグループ平均を上回る97.5となっている。全国町村平均よりも高い水準にあるため、地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえ、今後も給与の適正化に努め、類似団体平均の水準まで低下させるため財政改革に取り組む。

人口1,000人当たり職員数:過去からの新規採用抑制策(退職者不補充)により、類似団体平均を大幅に下回っている。今後も指定管理者制度の活用やアウトソーシングにより、職員数の抑制を図る。

